

2020年度 第3四半期決算説明会

2021年3月16日

【証券コード 4401】



2020年度 決算説明

第3四半期

2020年4月1日～2020年12月31日

代表取締役社長 城詰 秀尊



- 1. 2020年度 第3四半期連結業績 …… P3
- 2. 2020年度 通期連結業績予想 …… P11
- 3. ご参考 …… P13
 - 中期経営計画「BEYOND 3000」の進捗状況
 - 海外売上高

2020年度第3四半期 連結業績の概要

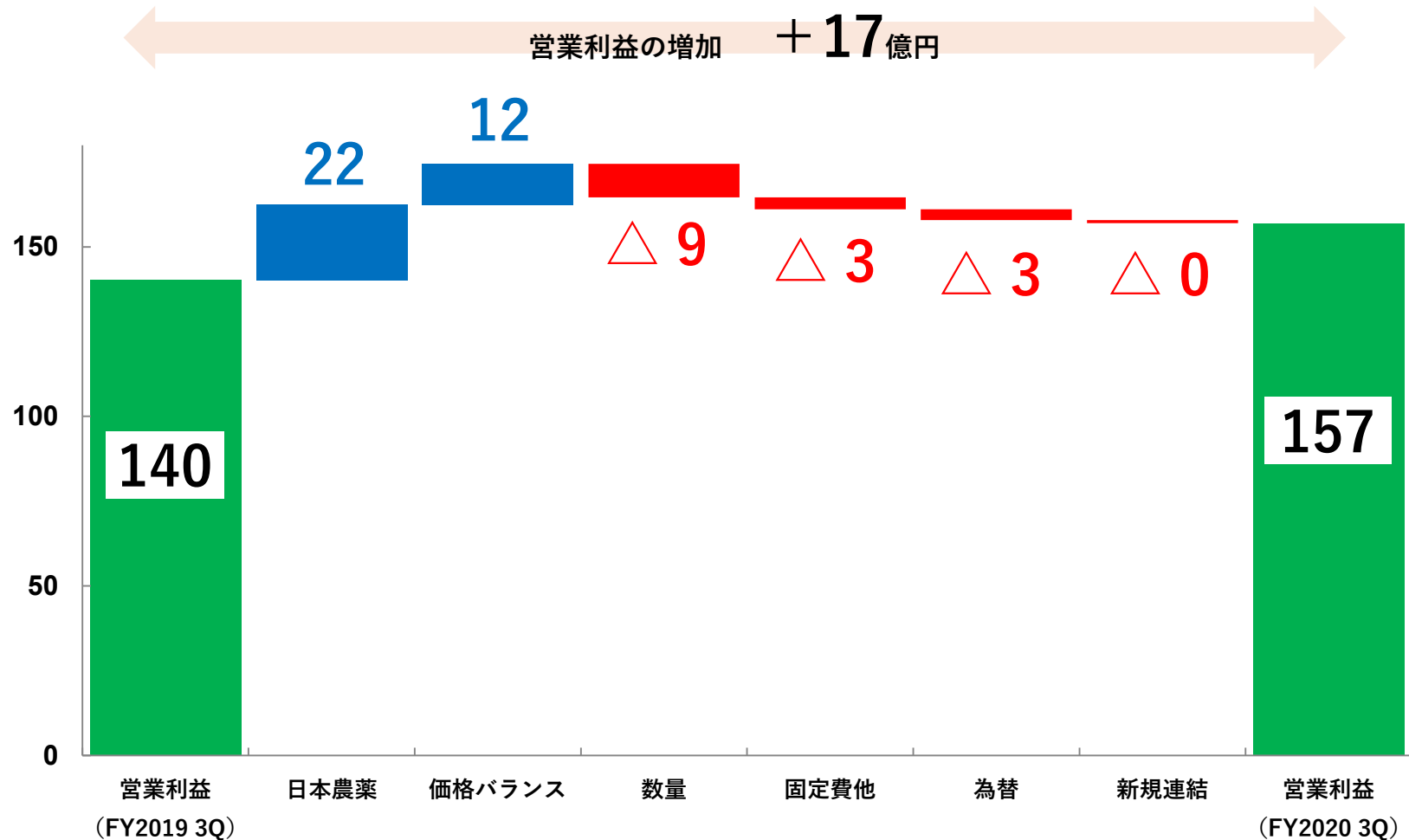
(単位：億円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減	増減率 (%)
売上高	2,183	2,138	△ 45	△ 2.1
営業利益	140	157	17	12.1
経常利益	133	151	18	13.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	101	104	2	2.9
1株当たり 四半期純利益 (円/株)	98.2円	100.8円	2.6円	

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

営業利益の増減分析

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2020年度第3四半期 連結業績（セグメント別）

（単位：億円）

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減	増減率（%）
売上高	2,183	2,138	△ 45	△ 2.1
化学品	1,219	1,146	△ 73	△ 6.0
樹脂添加剤	611	563	△ 48	△ 7.9
情報・電子化学品	194	210	16	8.6
機能化学品	413	372	△ 41	△ 10.0
食品	532	511	△ 20	△ 3.8
ライフサイエンス	370	417	46	12.5
その他	60	62	2	3.3
営業利益	140	157	17	12.1
化学品	134	131	△ 3	△ 2.7
樹脂添加剤	50	40	△ 9	△ 19.1
情報・電子化学品	46	55	8	18.9
機能化学品	38	35	△ 2	△ 7.4
食品	9	7	△ 2	△ 24.9
ライフサイエンス	▲ 10	11	22	-
その他	6	6	0	12.3

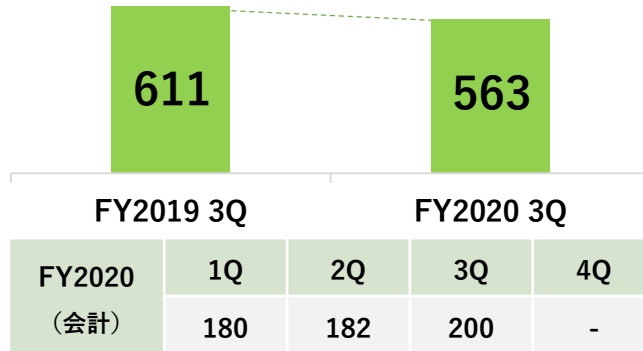
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

化学品事業（樹脂添加剤）

◆ 売上高

△ 7.9%

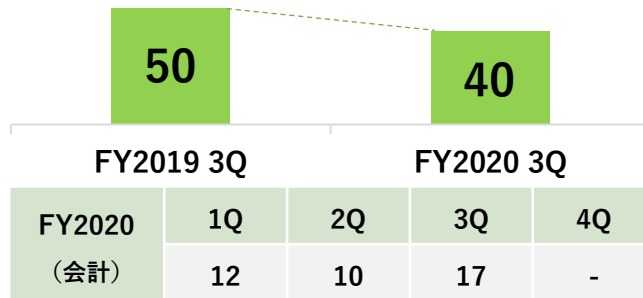
(単位：億円)



◆ 営業利益

△ 19.1%

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

主な要因（対前年同期）

第3四半期以降回復

◆ 自動車

低調

核剤、光安定剤、ゴム用可塑剤

◆ 建材

低調

塩ビ用安定剤

◆ 食品包装・医療

堅調

透明化剤

◆ プラスチック製品全般

低調

酸化防止剤

◆ 家電（筐体）

好調

エンジニアリングプラスチック用難燃剤

主な要因（対前年同期）

数量

△ 12億円

価格バランス

3億円

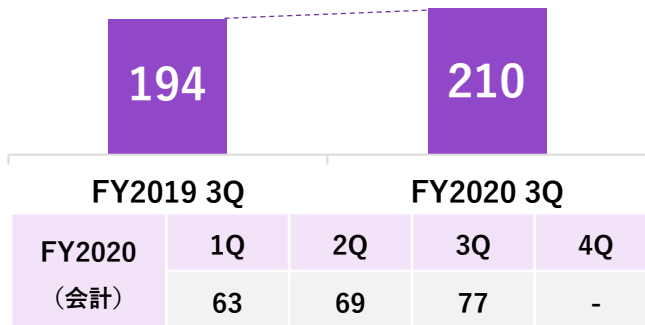
固定費他

1億円

化学品事業（情報・電子化学品）

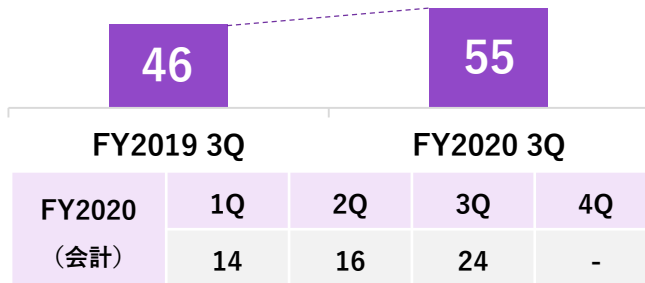
◆ 売上高

8.6% (単位：億円)



◆ 営業利益

18.9% (単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

主な要因（対前年同期）

◆ 半導体

5 G通信をはじめ需要が旺盛、EUV露光による半導体の微細化

好調 リソグラフィ用途 光酸発生剤
先端DRAM向け 高誘電材料（新製品）

堅調 NAND向け 製品

◆ ディ스플레이

ライフスタイルの変化に伴う液晶・有機ELパネルの需要増

好調 光学フィルム向け 光硬化樹脂
カラーフィルター向け 光重合開始剤

堅調 ディ스플레이用 エッチング薬液

主な要因（対前年同期）

数量
11億円

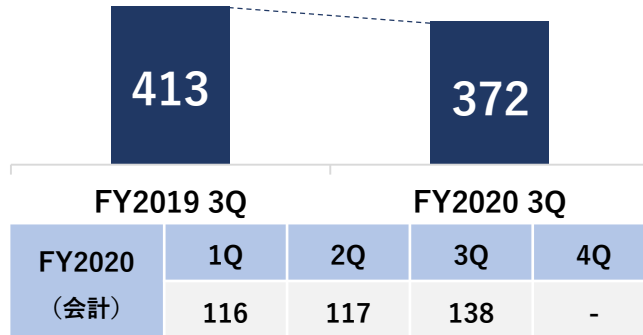
価格バランス
△ 2億円

固定費他
1億円

化学品事業（機能化学品）

◆ 売上高

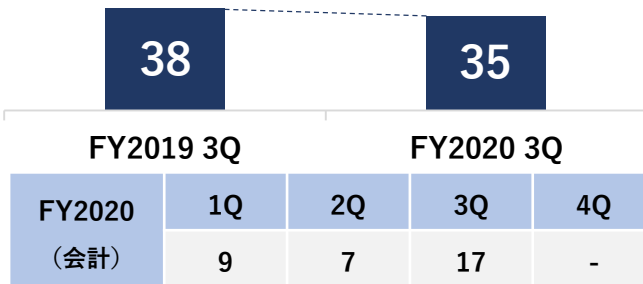
△ 10.0% (単位：億円)



◆ 営業利益

(単位：億円)

△ 7.4%



主な要因（対前年同期）

第3四半期以降回復

◆ 自動車

低調

エンジンオイル用潤滑油添加剤、
特殊エポキシ樹脂

◆ 土木・建築、一般工業向け

堅調

界面活性剤、過酸化製品、
プロピレングリコール類

◆ 化粧品・トイレタリー

堅調

手洗い・消毒向け製品（界面活性剤ほか）

低調

化粧品原料

主な要因（対前年同期）

価格バランス

10億円

数量

△ 7億円

原価他

△ 4億円

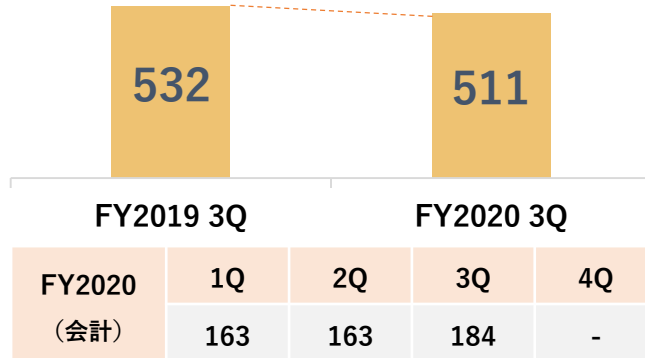
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

食品事業

◆ 売上高

△ 3.8%

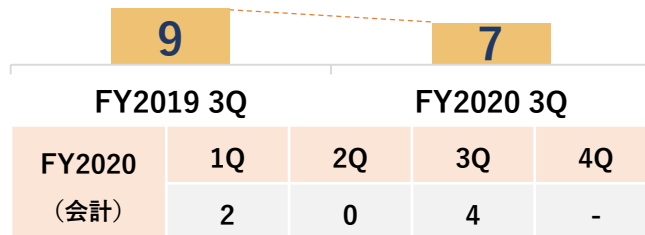
(単位：億円)



◆ 営業利益

△ 24.9%

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

主な要因 (対前年同期)

◆ 製パン、製菓 (国内、中国・東南アジア)

低調 マーガリン、ショートニング類

◆ 土産菓子

低調 マーガリン、ショートニング類、フィリング類

◆ 洋菓子・デザート

好調 ホイップクリーム

◆ 製パン (食品ロス削減・省力化)

伸長 練込用マーガリン「マーベラス」

「2020年日経優秀製品・サービス賞 日経M J賞」受賞

独自の機能素材の組合せ × 高分散技術
 (複数の酵素配合など) (生地の間々に分散)

消費期限延長に貢献(従来品の1.5倍に)

主な要因 (対前年同期)

数量

△ 2億円

価格バランス

1億円

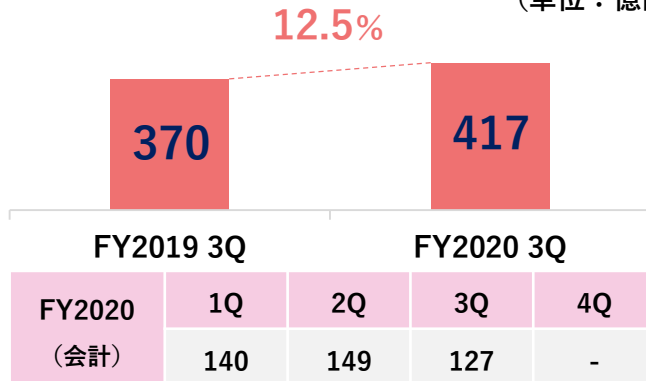
原価他

△ 1億円

ライフサイエンス事業（日本農薬）

◆ 売上高

(単位：億円)



主な要因（対前年同期）

◆ 農薬

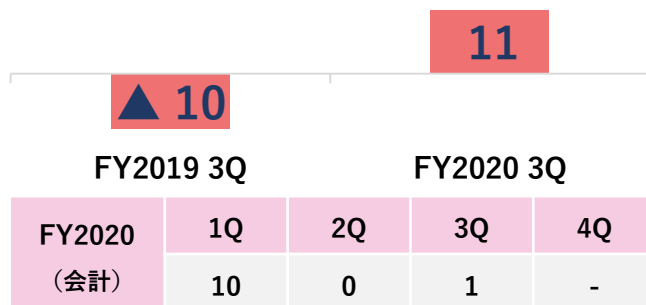
好調 国内、欧州、インド
低調 ブラジル

◆ 医薬品

好調 爪白癬分野
外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

◆ 営業利益

(単位：億円)



主な要因（対前年同期）

国内および欧州、インドでの農薬販売の拡大による増収効果に伴い、増益となった

<国内>

- ・農薬の使用時期および流通実態に即して販売を平準化
- ・水稲用殺菌剤や園芸用殺菌剤などの主力自社開発品目の普及拡販

<欧州>

- ・規制強化により、植物成長調整剤等の需要が拡大
(他社剤からの切替)

<インド>

- ・雨季の天候に恵まれ除草剤の需要が拡大、殺虫剤の販売も好調

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

通期 連結業績予想の修正

(単位：億円)

【2020年度 通期連結業績予想】

	前回発表予想 (2020/11/13)	今回修正予想 (2021/2/12)	修正額	増減率 (%)
売上高	2,900	3,140	240	8.3
営業利益	200	240	40	20.0
経常利益	192	240	48	25.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	120	137	17	14.2
1株当たり 四半期純利益 (円/株)	116.2円	132.7円	16.5円	

- 海外連結子会社10社（米国、中国、台湾、タイ、UAE）の決算期統一影響を織り込む（凡そ、売上高200億円、営業利益10億円の見込み）
- 第3四半期連結累計期間の実績及び最近の市場環境や業績動向を踏まえ上方修正

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注) 為替想定：107.00円/1ドル、119.00円/1ユーロ

2020年度 連結業績予想（セグメント別）

（単位：億円）

	上期実績	第3四半期 実績	通期予想 (a)	前年度実績 (b)	増減 (a)-(b)	増減率 (%)	前回発表予想 (2020/11/13) (c)	修正額 (a)-(c)
売上高	1,386	752	3,140	3,041	98	3.2	2,900	240
化学品	729	417	1,684	1,641	42	2.6	1,498	186
樹脂添加剤	362	200	865	821	43	5.3	737	128
情報・電子化学品	133	77	282	264	17	6.7	266	16
機能化学品	233	138	537	556	△ 19	△ 3.4	495	42
食品	327	184	683	710	△ 27	△ 3.8	660	23
ライフサイエンス	289	127	700	604	95	15.9	670	30
その他	39	22	73	85	△ 12	△ 14.6	72	1
営業利益	89	67	240	225	14	6.6	200	40
化学品	71	59	181	175	5	3.3	155	26
樹脂添加剤	23	17	63	66	△ 3	△ 4.8	50	13
情報・電子化学品	31	24	76	59	16	26.9	66	10
機能化学品	17	17	42	49	△ 7	△ 14.7	39	3
食品	2	4	11	15	△ 4	△ 30.0	10	1
ライフサイエンス	10	1	40	26	13	52.7	27	13
その他	4	2	8	7	0	0.6	8	0

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

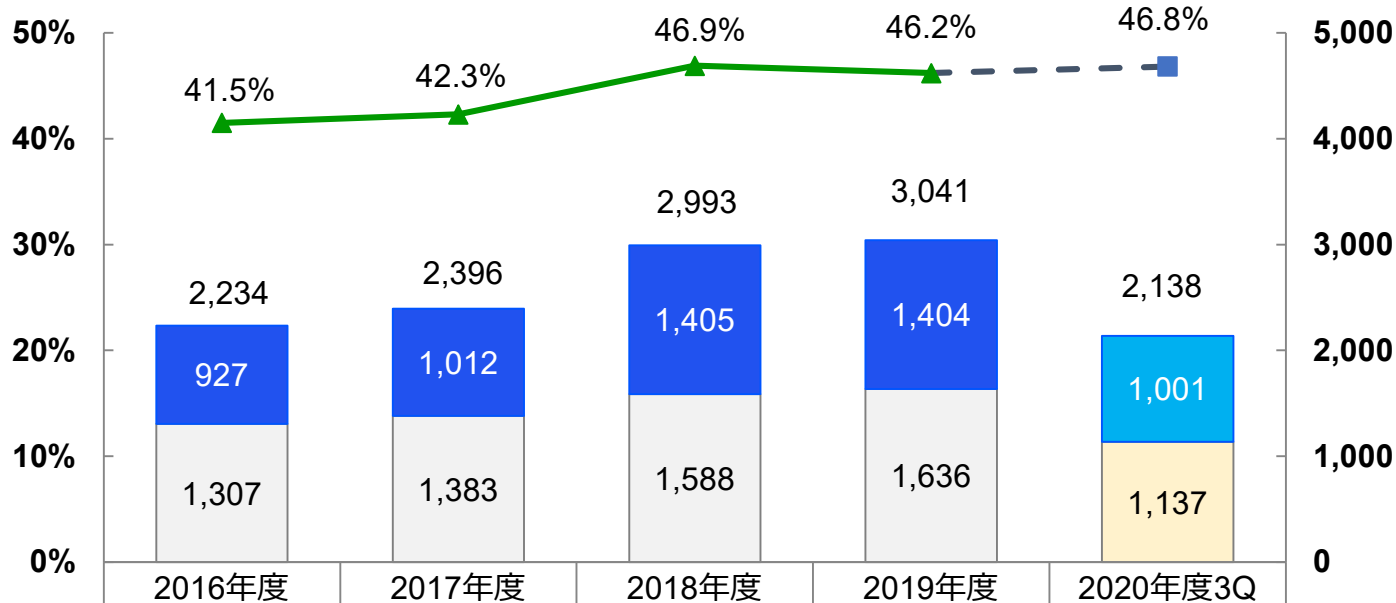
中期経営計画「BEYOND 3000」進捗（ご参考）

	2018年度実績 (中計1年目)	2019年度実績 (中計2年目)	2020年度予想 (中計最終年度)	中計最終年度 (目標値)
連結売上高	2,993億円	3,041億円	3,140億円	3,000億円超 (オーガニックグロース)
内、オーガニック グロース	2,550億円	2,388億円		
営業利益率	8.9%	7.4%	7.6%	10%
R O E	8.5%	7.3%	6.3%	10%
投 融 資	362億円/年	172億円/年	150億円/年	1,000億円/3カ年
設備投資額	174億円/年	172億円/年	150億円/年	500億円/3カ年
M & A 投資枠	188億円実行	—	—	500億円/3カ年
配 当	配当性向27.1%	配当性向32.5%	配当性向36.2%	配当性向30% (段階的に引き上げた最終年度目標)

* オーガニックグロース：樹脂添加剤、化学品、食品の事業成長で売上高3,000億円超を目指す計画（M&A寄与分を除く）。

海外売上高（ご参考）

（単位：億円）



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2020年度 第3四半期 決算説明補足資料

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考



1 連結貸借対照表

(単位：億円)

科目	前連結会計年度 (2020.3.31現在)	当第3四半期末 (2020.12.31現在)	前期末比 増減
資産の部			
流動資産	2,276	2,311	35
固定資産	1,818	1,790	△ 27
有形固定資産	1,132	1,189	57
無形固定資産	163	160	△ 2
投資その他の資産	522	440	△ 81
資産合計	4,094	4,102	8
負債の部			
流動負債	927	952	25
固定負債	661	589	△ 71
負債合計 ①	1,588	1,541	△ 46
純資産の部			
株主資本	2,014	2,060	46
資本金	229	229	-
資本剰余金	199	200	0
利益剰余金	1,588	1,634	45
自己株式	△ 4	△ 4	0
その他の包括利益累計額	88	110	22
その他有価証券評価差額金	65	81	15
土地再評価差額金	42	42	-
為替換算調整勘定	1	6	4
退職給付に係る調整累計額	△ 20	△ 18	1
非支配株主持分	403	389	△ 14
純資産合計 ②	2,506	2,561	54
負債及び純資産合計	4,094	4,102	8

POINT①

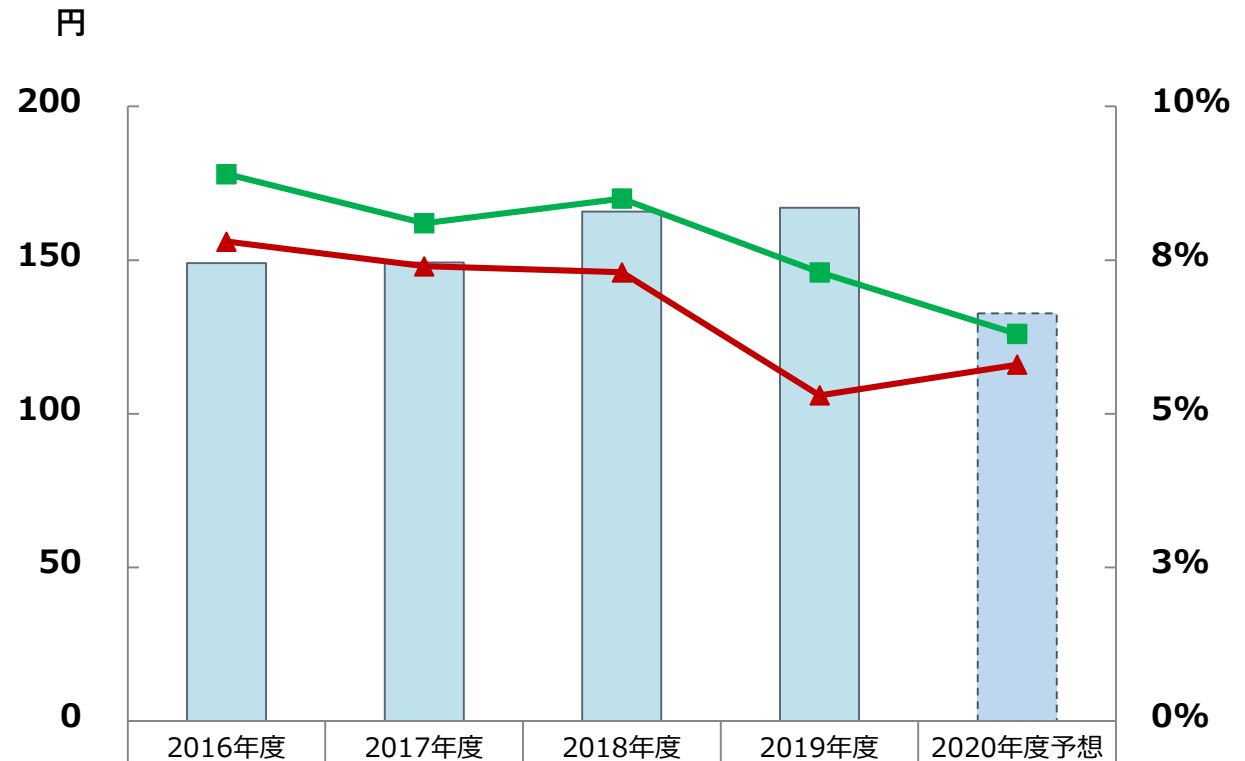
負債合計の減少	△ 46億円
短期借入金の減少	△ 48億円

POINT②

純資産合計の増加	54億円
利益剰余金の増加	45億円

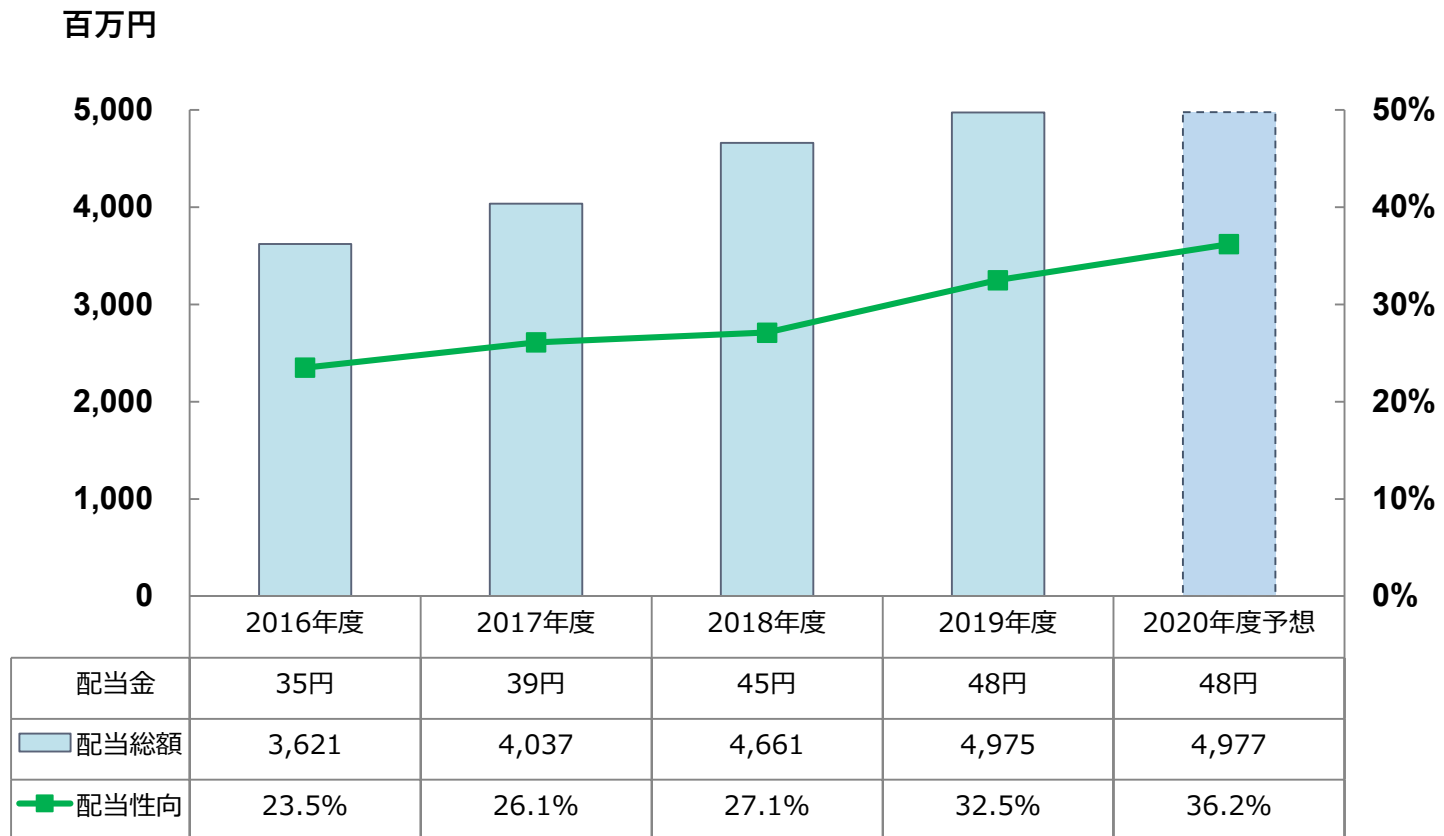
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2-1 収益性



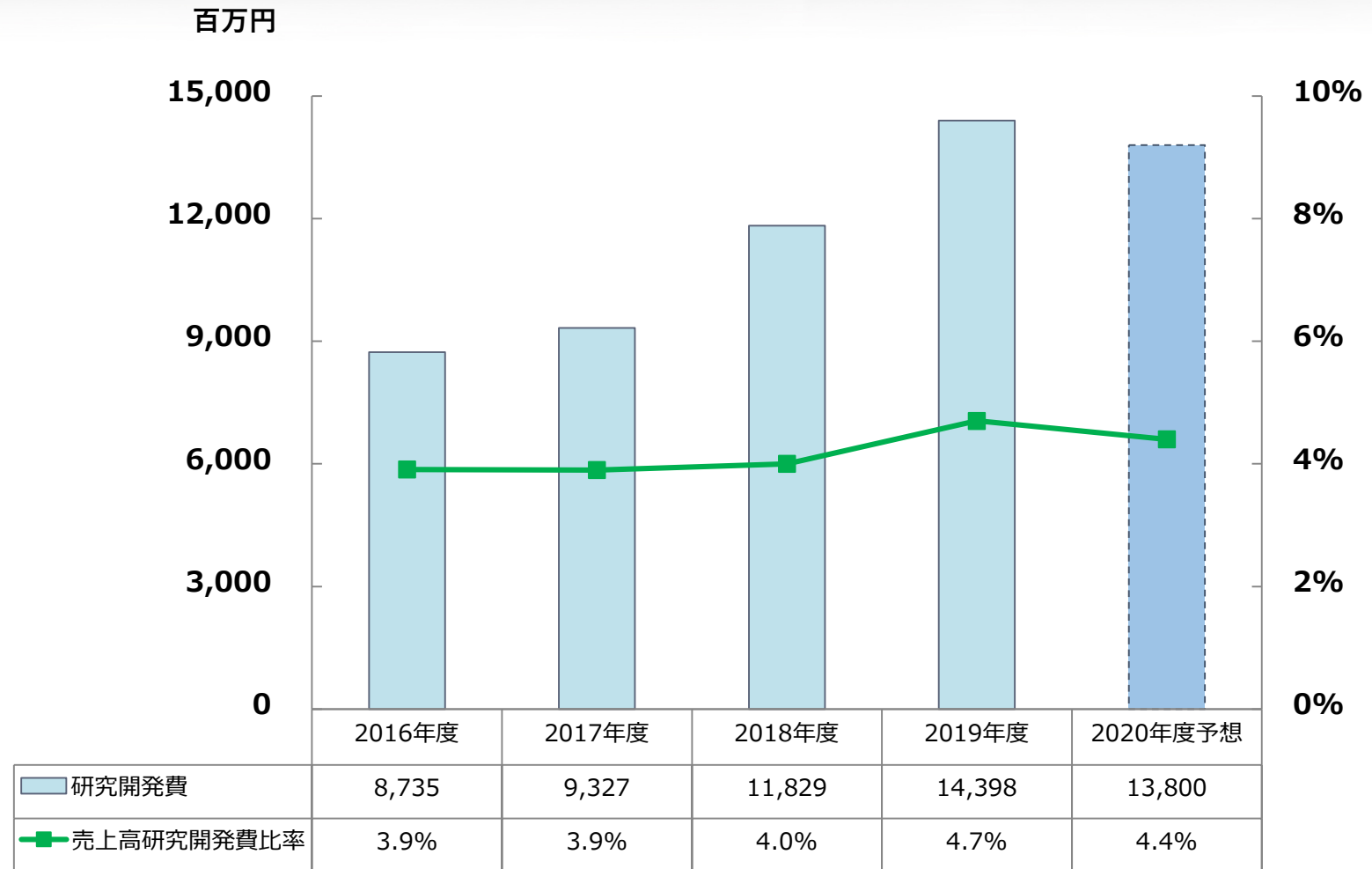
■ EPS (1株当り当期純利益)	149.0円	149.2円	165.8円	147.7円	132.7円
■ ROE (自己資本当期純利益率)	8.9%	8.1%	8.5%	7.3%	6.3%
▲ ROA (総資産経常利益率)	7.8%	7.4%	7.3%	5.3%	5.8%

2-2 配当金、配当性向



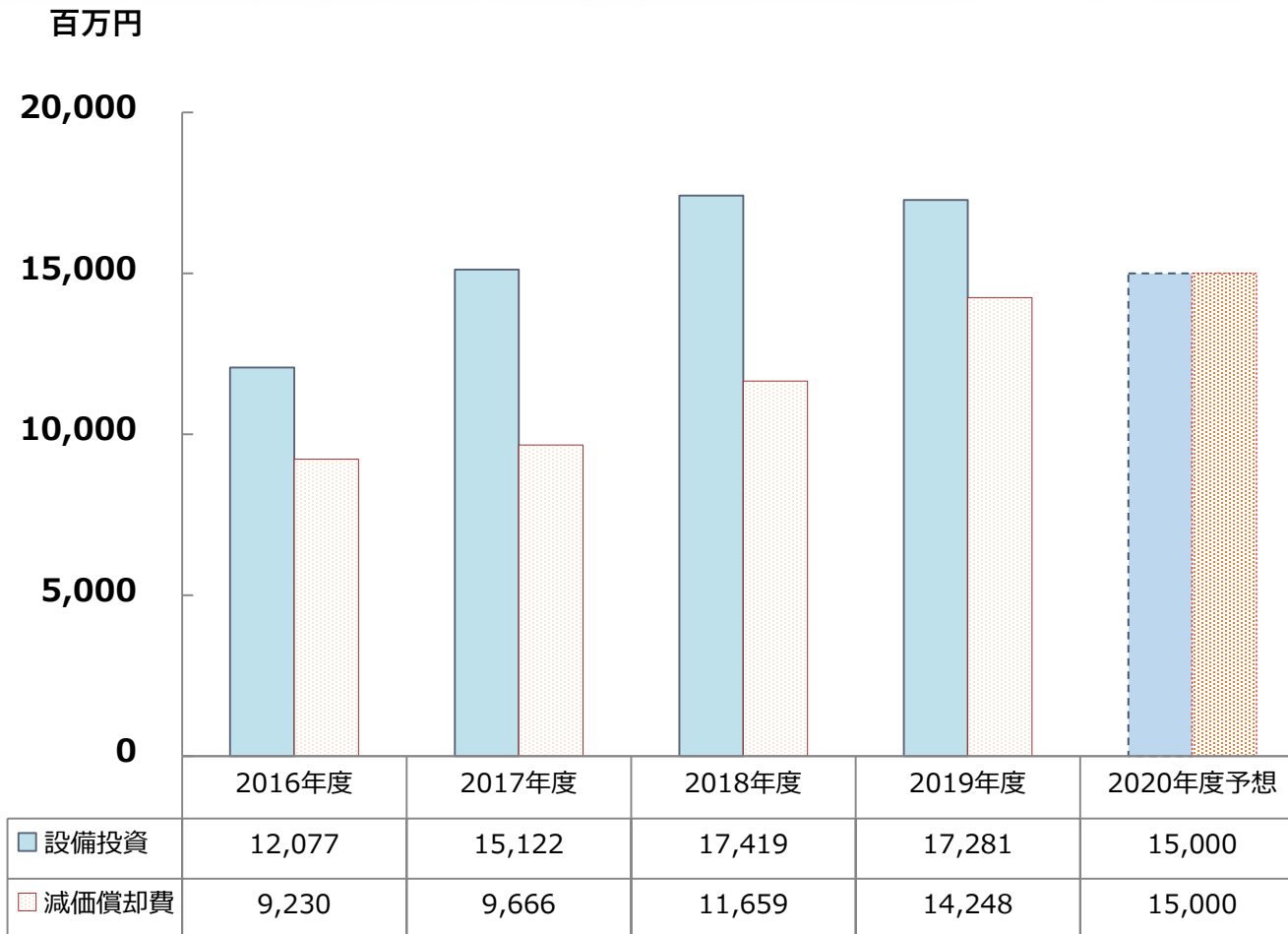
注1) 2016年度の配当金には、創立100周年記念配当金5円を含む 注2) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

2-3 研究開発費



注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

2-4 設備投資



注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

3 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ用油脂、ホイップクリーム、練込用クリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料等	
	その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他	

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。